

きたかみ未来創造会議2013 第1回 今年度の会議の進め方を考える

昨年度から続けよう

- システム（PDCA）の中での私たちの役割を意識できる
- 指標の内容のチェック
- 新たな指標の提案
- 施策毎の評価は昨年と同じにて良い
- 数字が変わったのが分かってきた
- 意見を取り入れられた

昨年度の課題

- 数字（目標の）だけでなく、その意味を理解できるようにしよう！
- 指標推移が実感しにくい（具体性？）
- 評価の具体的活かされ方の例示が少ない？
- 市民意識調査との乖離の大きい理由の項目についてチェック要
- 指標の具体案を出せば良い
- 会議の結果がどのように反映されたのか
- 施策の方向性一覧を理解あるのがむずかしいのでは
- 前回出した指標以外の解決策（市民企業…）はどのように活かされているのか？
- 目標の共有ができないと成果指標と目標値はでてこない
- 全体最適を目的に議論するのか、各分野の部分最適に徹するのか方向が曖昧
- 事業のそもそもの目的を共有しきれてない

今年度はこうしたい

- D=スクラップがあっても良い
- 指標を思い切って見直す
- 未来創造会議という名称に合う「未来創造」提言
- 市民、企業がやるべきことをはっきりさせる
- 未来創造会議の取り組みや進捗状況を市民の方々にも周知しては
- 昨年の会議で意見や改善案のあったものについて改善できたものがあれば出した方がよい
- 今年は実施している事業の内容についても検討できるといいかも
- 今年は、市民、企業との役割分担についても検討するといいい
- 指標以外の評価にもチャレンジ（事業の評価等）
- 新しく取り組んでみたらいいような事業を提案できたらいいですね
- 未来創造会議の市民へのPR
- 未来創造会議の市職員へのPR
- 会議のPR
- 紙面と共にweb化したら
- Facebookページで情報発信
- 未来創造会議を市議会議員に見学してもらおう
- 毎回の会議の後に結果を公表してほしい

会議の位置づけ

- 気軽な雰囲気
- 平服での参加
- 仲良く楽しく
- 明るく楽しい感じ！
- 和やかな会議の雰囲気
- 和やかな会議進行

話し合いの雰囲気

昨年度から続けよう

会議の進め方

- 同じメンバーだと良い！スタートがスムーズ
- 同じ課題を見直すのが良い、継続して確認できる
- 他の島の様子をのぞく仕掛け
- この形式で良い
- 回数は4回
- 情報共有
- 自由に発言ができるシステムルール
- いろんな（建設的）意見を出し合っていきたい

昨年度の課題

- 役所用語がちょっと多い
- 分かりやすい説明を心がける
- 予習が必要
- 指標の説明に設定理由を入れよう
- すべての施策を点検することは時間が足りないで見直しては？
- 評価するための下地となる理解は十分だろうか
- 評価、チェックする材料が少ないのでは
- 評価がわかりにくい
- 比較するデータが足りない
- 指標の説明時間が少なく分かりにくいのでは？
- 数字から問題を見つける事
- 各課の状況が分かるように
- 資料が見づらい（字が小さい）
- 説明者が、えー、あー、うーが多くて、聞き疲れる
- ゆっくり考える時間がほしい
- 考える時間が短すぎる
- 意見を分かりやすく話すこと

今年度はこうしたい

- 参加者が周囲の方の声を聞いて、その声を持ち寄る
- 他の班からの見方や意見を取り入れる事
- 分野間の意見交換を増やす
- 他の施策も関心を持つ
- 素直な意見を言う
- 昨年より1歩前へ進んだ成果にしたい
- ゲームのような進め方はやめて
- ゆっくり考える時間をつくる
- 毎回でなくてよいが、時にはグループ内協議をより長時間に。エンドレスでも可
- 事務局へ 事前に資料を配布してほしい
- 昨年と同じように予算の入った資料があった方が良い
- 資料で指標を事前に判断した資料にできれば
- 評価する前のインプット資料をあらかじめ配布
- 評価成果の見える化の方法を工夫する（表→図）
- 判断材料となるデータを増やす
- グラフ等の見やすさを表に入れる
- 他市との比較
- 実績数値のグラフ化
- 資料の字を大きくする

メンバー

- 参加者がたくさんいる
- 休まず参加
- 今年も休まず参加
- どの係になるのが楽しみ

- （自分自身の…）未来創造会議の参加者目標に向けて出席する事
- この会議の出席率が指標になってプレッシャーがかかった
- メンバーの参加が少ない
- 人数をもう少し増やしたい
- メンバーの参加率が悪い
- メンバーが少ない
- いろんな年代の人がいたほうが良い

- 全参加
- 休まず参加したいと思う
- 言いたい放題懇親会
- メンバー間の情報交換（オフ会とか）
- 中間で交流会をしよう！
- 出来る限り参加する
- 参加者さんの意向を多く知る
- 膝を交えて討論するために、泊りがけでアワを交えてやろう！！

昨年度から続けよう

昨年度の課題

今年度はこうしたい

話し合いの仕組み

- 市の担当職員が入ると良い、その道のプロなので
- サポーターさんが会議に参加してもらおうと助かります
- 担当課の話し合いへの参加
- 行政からのサポーター参加
- 市職員の参加（アドバイザー、説明者）
- 市職員の方々と直接対話ができること
- 数値を説明してくれるサポーター
- ファシリテーターが居ると良い、話を進めてくれる
- バリエーション豊かなファシリテーター
- みきちゃんが笑顔でいられる会議

- 途中の休憩時間がほしい
- サポーターの方の出席について検討を
- サポーターが欠席すると他のサポーターはカバーできない

- 市のサポーターの方のリストを皆へ配布する（担当課記入）
- サポーターは、でしゃばらない！

話し合いの環境

- 快適な温度の部屋
- 茶菓は続けよう！
- お茶とおかしがあると良い、場が和む

- チョコレートがほしい（疲れた頭の活力回復！）
- お菓子だけでは腹がおちつかない
- 野菜ジュースが提供されない（飲みたい）
- おかしでは胸焼けする・お菓子が減らない
- おやつタイムを取る、真剣に食べる時間がほしい
- 1回で良いのでコーヒーとケーキがほしい
- BGMが場を和ませるのでは？
- 会場をもっと広い場所で（うるさい）
- 細やかな説明はもっと静かな場所が良い
- 広い場所での会議
- 他グループの声で、グループ内の声が聞こえない
- 会場がうるさくて聞こえない
- グループの話し合い場所（となりがうるさい）
- 場所を変え、気分転換したい
- 部屋が狭く他の声でうるさい
- 会場が常に同じ場所（生涯学習センターでOK）

- グループでの話が聞こえにくいので部屋を分ける
- ドリンクバーを設けて自由におかわりできること
- 暖かい飲み物もほしい
- おにぎりがほしい
- 野菜ジュースを出してみる
- コーヒーとケーキがほしいなー
- 10分間のケーキタイムを作る
- 休憩時間をつくる
- 隣の声が気にならない広さの会場
- 菓子よりおにぎりが良いぞ
- たまにはビール等、ソフトドリンクを。ヨーロッパのように
- アイスを食べたい
- 十分な議論ができる場所の決定

具体の施策

- スポーツ振興は続けたい、国体に向けて

- 国際化対応は基準の種類、何を数値にすべきか課題

- 環境対策の為に、自家用車の利用をできるだけ控えよう！
- 生涯学習に対して地域、年齢層等、考慮したトータル的に創造プラン
- 学校給食と高齢化の年令との合体した食事の機会を設ける
- 桜まつり（文化財）として広い面で考えていく
- ふるさと文化と祭典をトータルプランとして新しい方向性の確立を